夜行列車 (1959)

POCIAG
THE NIGHT TRAIN

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 ポーランド
色彩 B&W
時間 100分
初公開日 1963/03/01
公開情報 新外映
リバイバル 1979/10 [東映洋画]

【解説】

スターリン死後の“雪解け”によって、改革成ったポーランドの映画構造は6つの創作集団別のユニット制となった。その代表格がカワレロウィッチ率いる“カードル”で、アンジェイ・ワイダもそこに属した。この作品はそうしたポーランド映画の充実期に作られた、みずみずしさと力強さを合わせ持つ秀作である。年下の男との恋を逃れた主人公マルタは旅に出、ワルシャワからバルチック沿岸に向かう夏の週末の夜行列車に乗り込む。乗客には牧師、弁護士、医師、新婚カップル、不眠症に悩む男などいろいろ。彼女を追う恋人もその中にいた。そして、一人の殺人犯がそこへ紛れ込んだことで起きる波紋をサスペンス豊かに描きながら、それぞれの人生を鋭くあぶりだす。アメリカのジャズの大御所A・ショーの“ムーン・レイ”を、ポーランド・モダンジャズの第一人者A・トシャコフスキーが編曲したスキヤットのテーマが気怠いムードを煽り立てる。ラスト、終着駅の列車の窓に広がる北国の夏の海辺の光景が寂寥として美しい。

【クレジット】

監督 イエジー・カヴァレロヴィチ Jerzy Kawalerowicz
脚本 イエジー・ルトフスキー
イエジー・カヴァレロヴィチ Jerzy Kawalerowicz
撮影 ヤン・ラスコフスキー Jan Laskowski
出演 ルチーナ・ウィンニッカ Lucyna Winnicka
レオン・ニェムチック Leon Niemczyk
ズビグニエフ・チブルスキー Zbigniew Cybulski